

平成 26 年度 第 1 回河川工作物アドバイザー会議

オ ッ カ バ ケ 川

第 2 次 検 討 ダ ム 資 料

平成 26 年 9 月 9 日～10 日

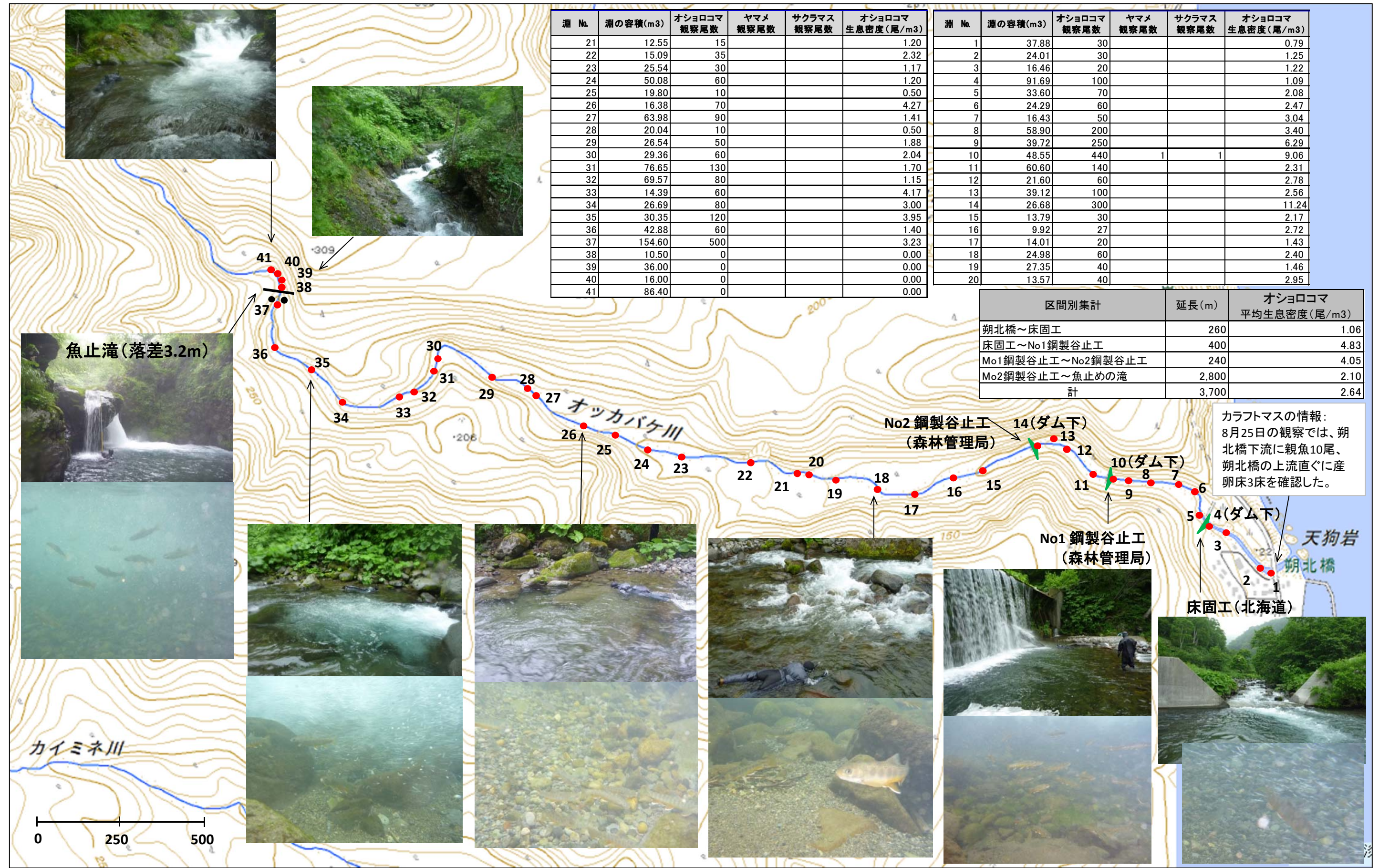
北 海 道 森 林 管 理 局

淵 No.	淵の容積(m ³)	オシヨロコマ 観察尾数	ヤマメ 観察尾数	サクラマス 観察尾数	オシヨロコマ 生息密度(尾/m ³)
21	12.55	15			1.20
22	15.09	35			2.32
23	25.54	30			1.17
24	50.08	60			1.20
25	19.80	10			0.50
26	16.38	70			4.27
27	63.98	90			1.41
28	20.04	10			0.50
29	26.54	50			1.88
30	29.36	60			2.04
31	76.65	130			1.70
32	69.57	80			1.15
33	14.39	60			4.17
34	26.69	80			3.00
35	30.35	120			3.95
36	42.88	60			1.40
37	154.60	500			3.23
38	10.50	0			0.00
39	36.00	0			0.00
40	16.00	0			0.00
41	86.40	0			0.00

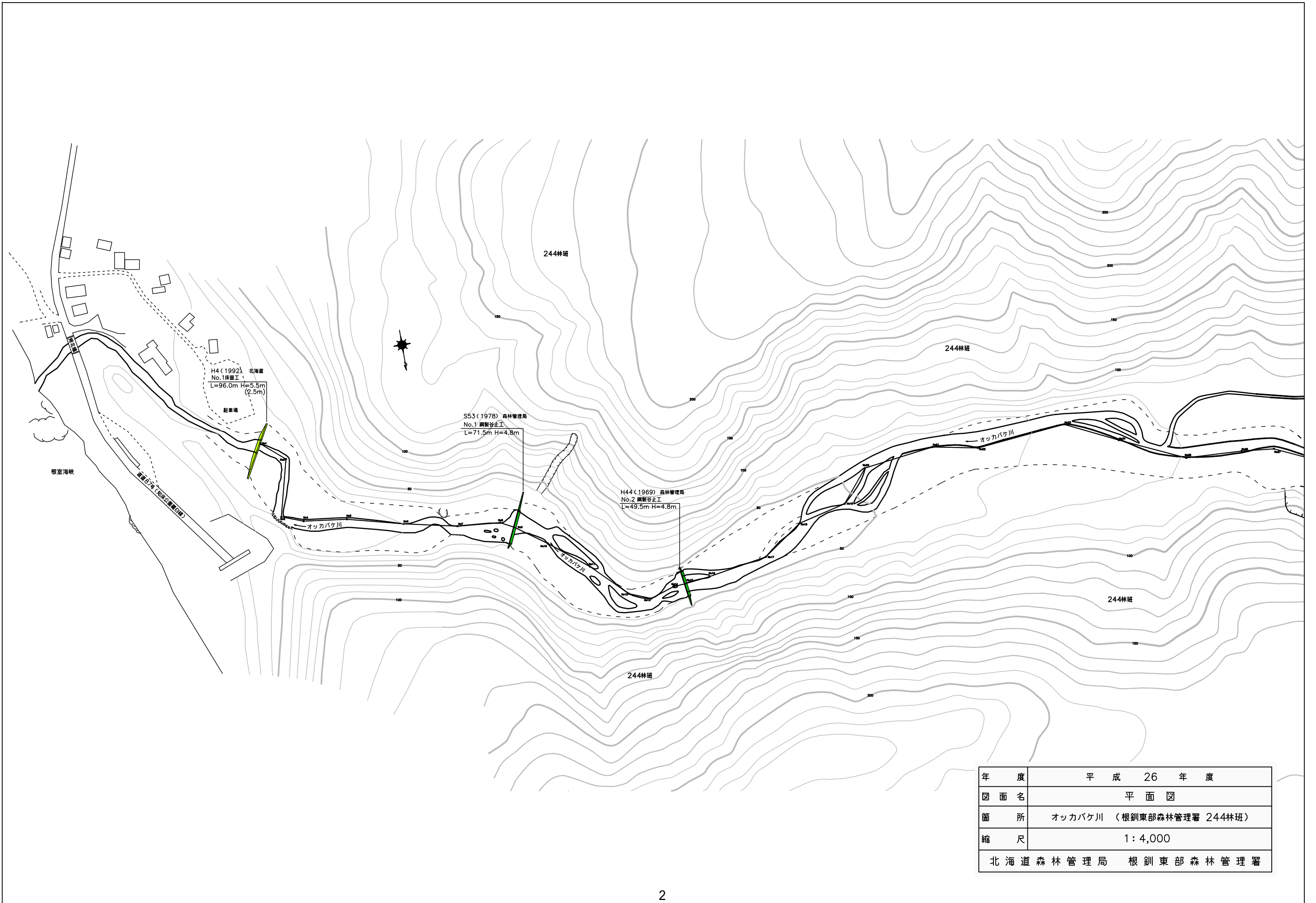
淵 No.	淵の容積(m ³)	オシヨロコマ 観察尾数	ヤマメ 観察尾数	サクラマス 観察尾数	オシヨロコマ 生息密度(尾/m ³)
1	37.88	30			0.79
2	24.01	30			1.25
3	16.46	20			1.22
4	91.69	100			1.09
5	33.60	70			2.08
6	24.29	60			2.47
7	16.43	50			3.04
8	58.90	200			3.40
9	39.72	250			6.29
10	48.55	440	1	1	9.06
11	60.60	140			2.31
12	21.60	60			2.78
13	39.12	100			2.56
14	26.68	300			11.24
15	13.79	30			2.17
16	9.92	27			2.72
17	14.01	20			1.43
18	24.98	60			2.40
19	27.35	40			1.46
20	13.57	40			2.95

区間別集計	延長(m)	オシヨロコマ 平均生息密度(尾/m ³)
朔北橋～床固工	260	1.06
床固工～No1鋼製谷止工	400	4.83
No1鋼製谷止工～No2鋼製谷止工	240	4.05
No2鋼製谷止工～魚止めの滝	2,800	2.10
計	3,700	2.64

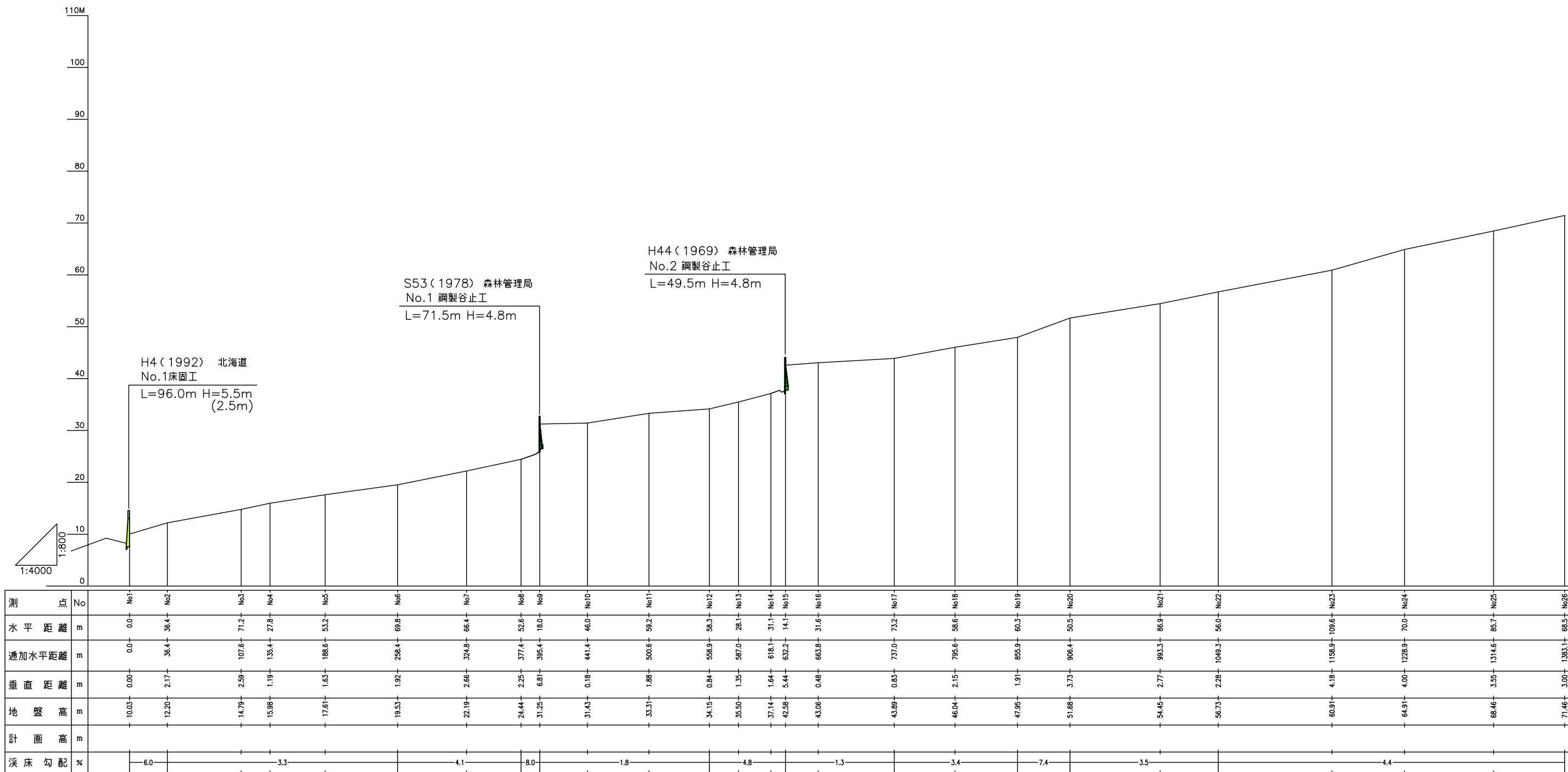
カラフトマスの情報:
8月25日の観察では、朔北橋下流に親魚10尾、朔北橋の上流直ぐに産卵床3床を確認した。



オツカバケ川の主たる淵におけるオシヨロコマの尾数・密度(平成26年7月21、23、24日調査)

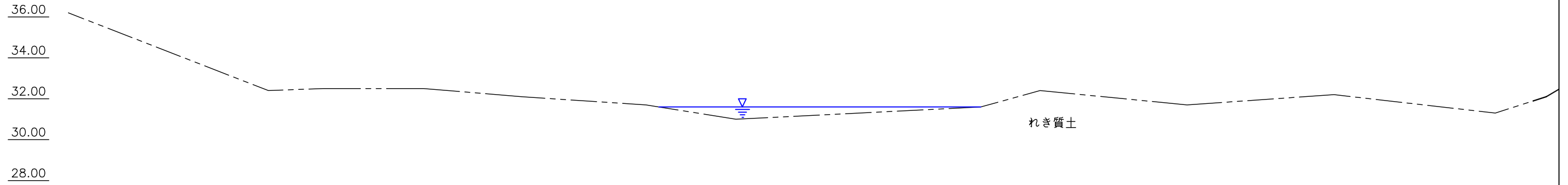


年 度	平 成 26 年 度
図 面 名	平 面 図
箇 所	オッカバケ川 (根釧東部森林管理署 244林班)
縮 尺	1 : 4,000
北海道森林管理局 根釧東部森林管理署	

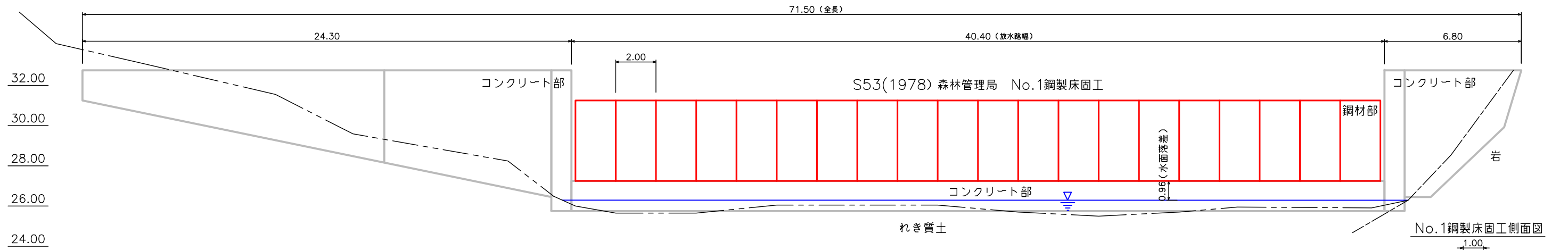


年度	平成 26 年度
図面名	溪床縦断図
箇所	オッカバケ川 (根釧東部森林管理署 244林班)
縮尺	横 1:4,000 縦 1:800
北海道森林管理局 根釧東部森林管理署	

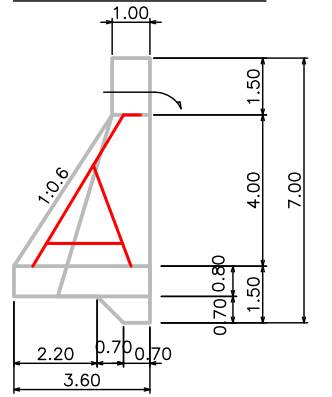
No.1鋼製床固工 より20m上流の横断



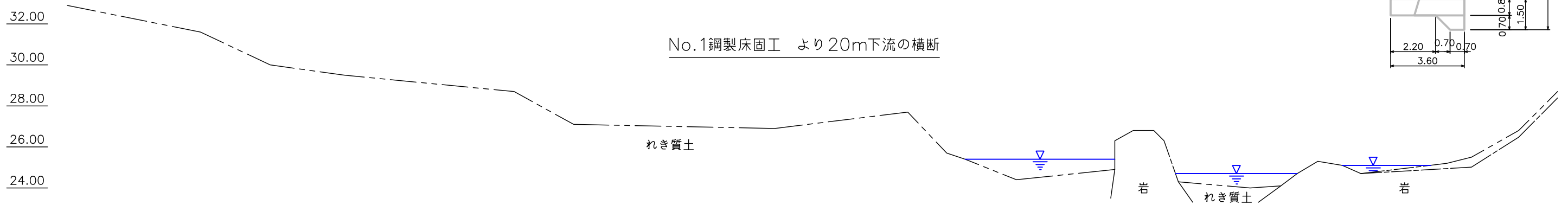
No.1鋼製床固工 下流側の横断



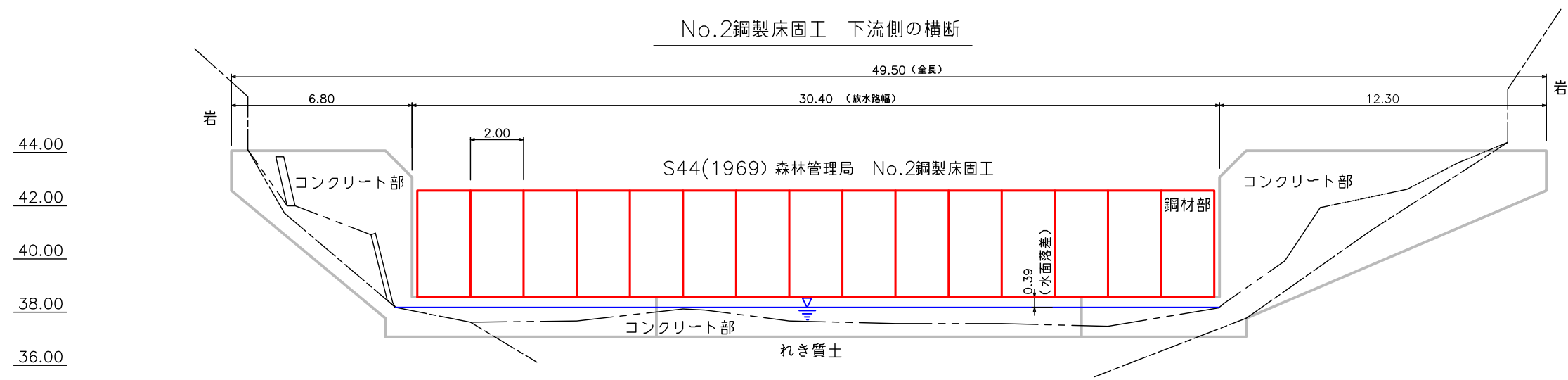
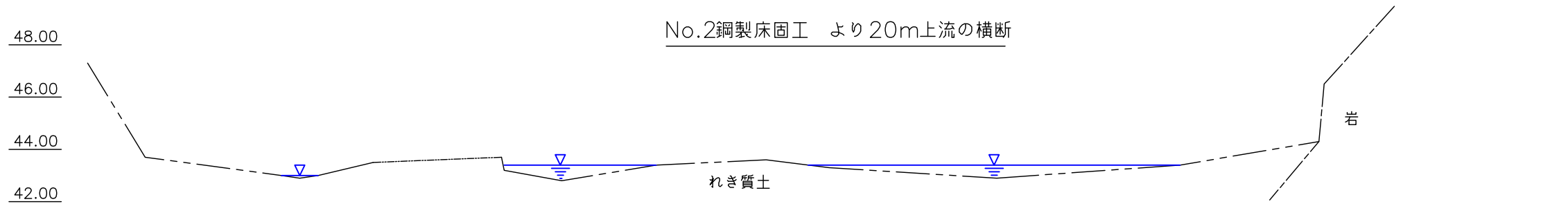
No.1鋼製床固工側面図



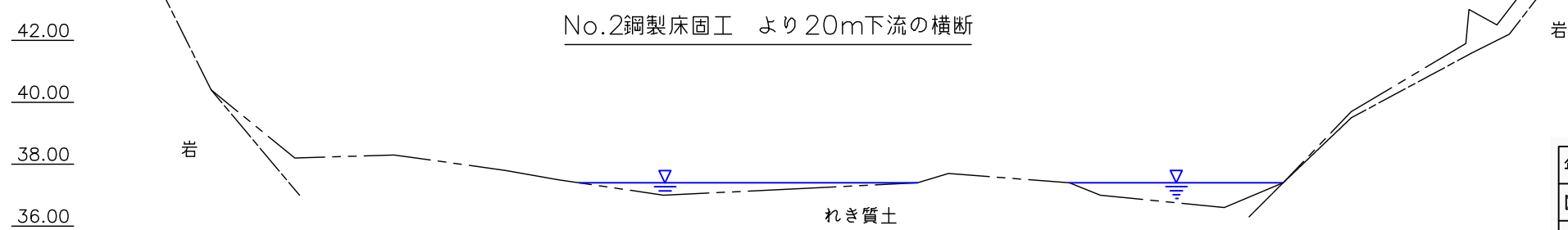
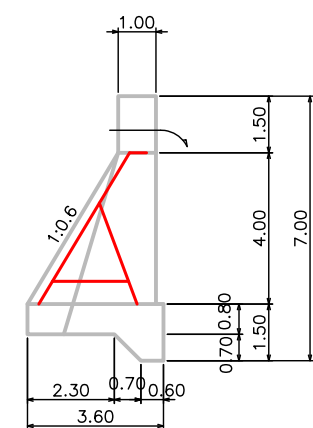
No.1鋼製床固工 より20m下流の横断



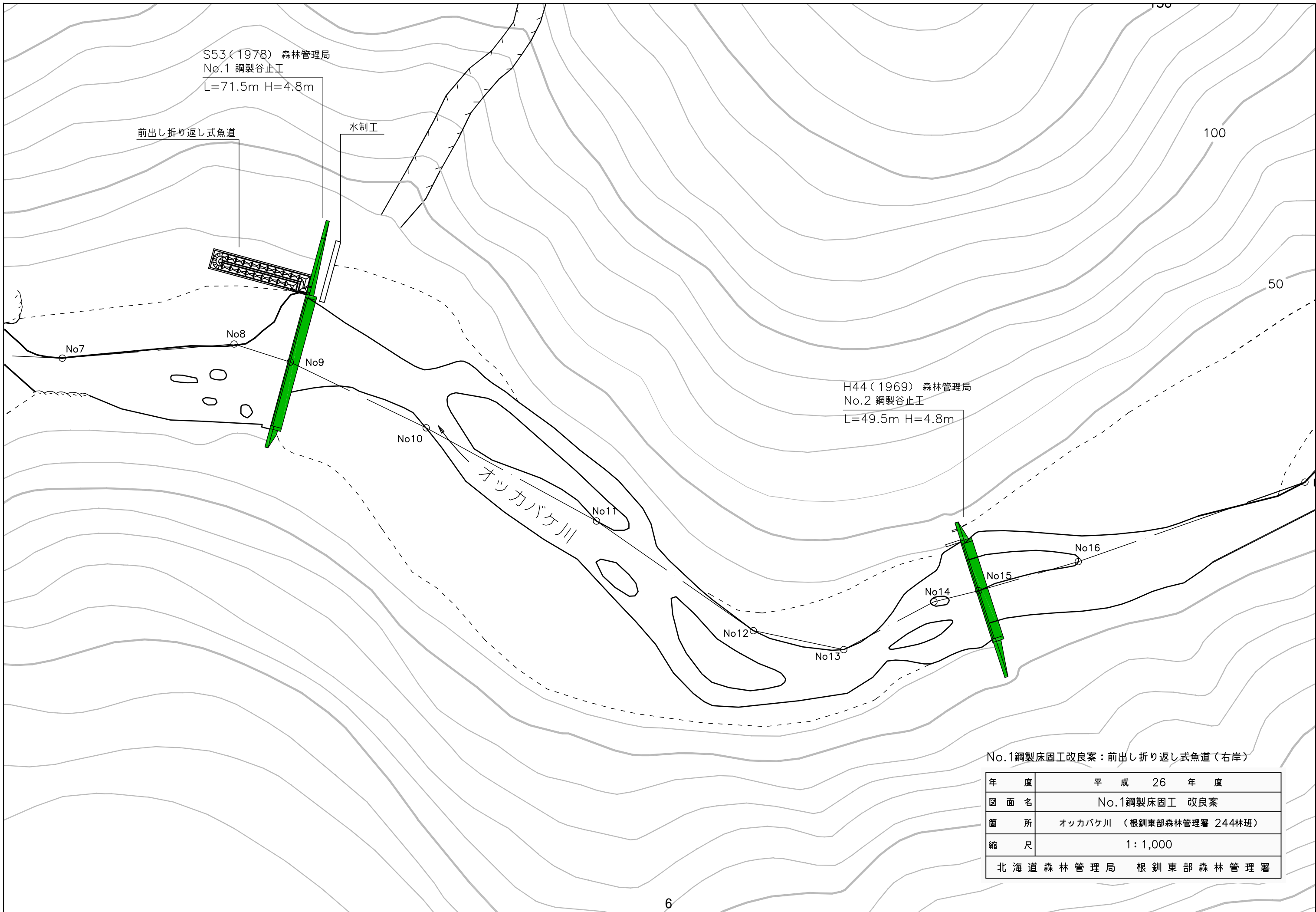
年 度	平成 26 年 度
図 面 名	No.1 鋼 製 床 固 工 の 横 断
箇 所	オッカバケ川 (根釧東部森林管理署 244林班)
縮 尺	1:200
北海道森林管理局 根釧東部森林管理署	



No.2鋼製床固工側面図



年 度	平成 26 年 度
図 面 名	No.2 鋼 製 床 固 工 の 横 断
箇 所	オッカバケ川 (根釧東部森林管理署 244林班)
縮 尺	1:200
北海道森林管理局 根釧東部森林管理署	



S53(1978) 森林管理局
No.1 鋼製谷止工
L=71.5m H=4.8m

前出し折り返し式魚道

水制工

H44(1969) 森林管理局
No.2 鋼製谷止工
L=49.5m H=4.8m

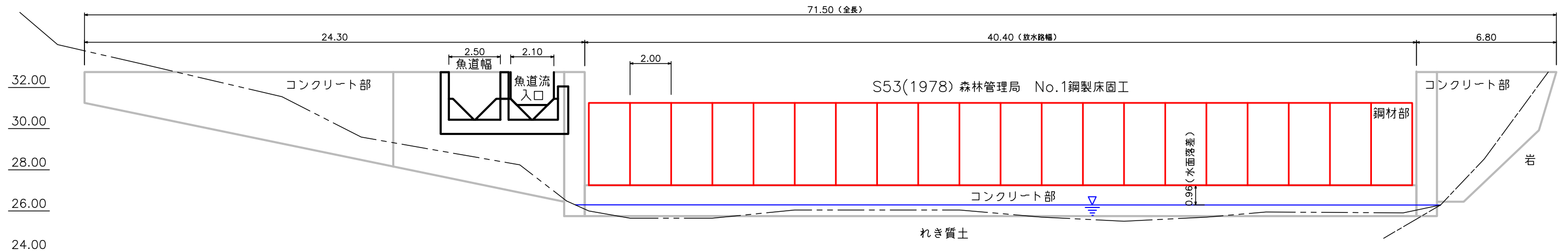
オッカバケ川

No.1鋼製床固工改良案：前出し折り返し式魚道（右岸）

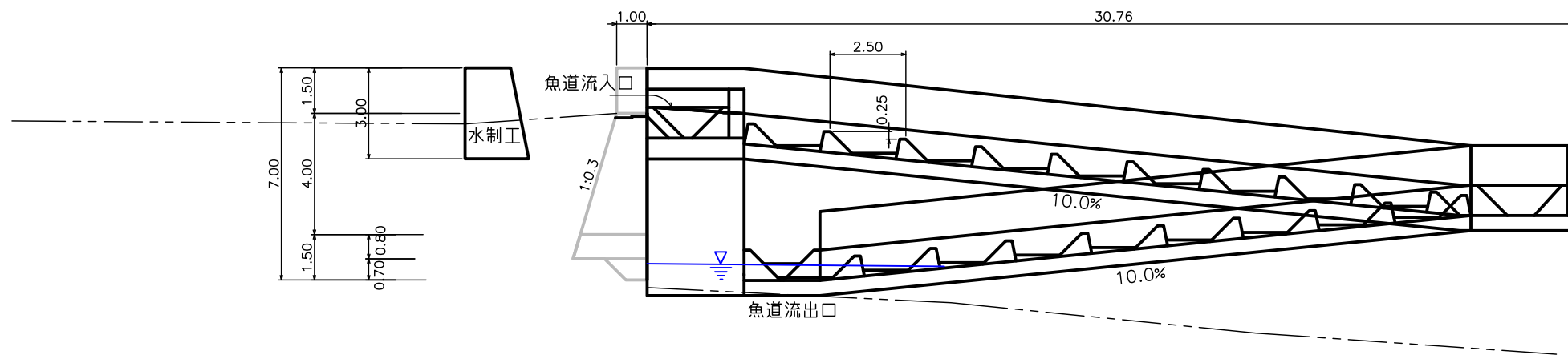
年 度	平成 26 年 度
図 面 名	No.1鋼製床固工 改良案
箇 所	オッカバケ川（根釧東部森林管理署 244林班）
縮 尺	1：1,000
北海道森林管理局 根釧東部森林管理署	

No.1鋼製床固工 下流側の横断

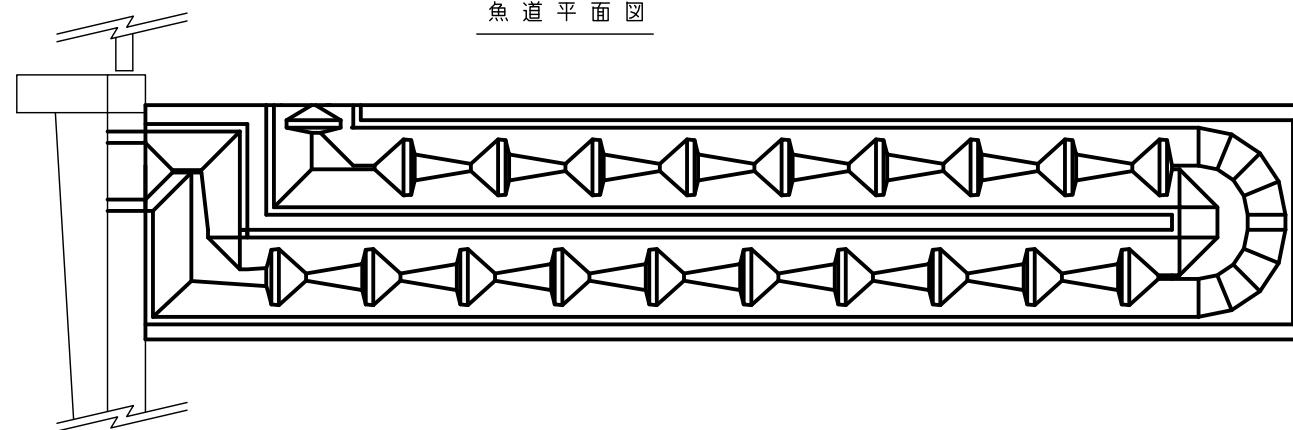
正面図



魚道側面図



魚道平面図



前出し折り返し式魚道（右岸）

年 度	平 成 26 年 度
図 面 名	No.1 鋼 製 床 固 工 の 改 良 案
箇 所	オッカバケ川（根釧東部森林管理署 244林班）
縮 尺	1：200
北海道森林管理局 根釧東部森林管理署	

オッカバケ川 第2次検討ダム 留意点

- ① 防災機能を低下させない工法の選択。
(災害履歴:S40年 台風23号の影響による河川増水氾濫を受けてS44年にNo2ダムの施工を実施。)
- ② 河口沿岸域でホタテ養殖、コンブ漁、ウニ漁、サケ・マス定置網の漁業を営んでいるため、改良するためには地元の合意形成が必要。さらに施工にあたっては河川の濁りに対して細心の注意が必要。
- ③ No2ダムの上流域に希少猛禽類が飛来。
- ④ 希少猛禽類及び漁場への配慮から、施工時期は11月後半～2月前半までに限定。
- ⑤ No1ダムは縦断図からスリット化するとNo2ダムに影響を及ぼす恐れがあり、スリット化は困難。
- ⑥ 施工を検討するにあたり、No1、No2ダムまでの作業道の設置が必要。また、No1ダムからNo2ダム間の作業道は河床を横断しなければならないため、河床改変を抑制するための栈橋設置の検討。
- ⑦ No2ダム上流への作業道の乗り越えは、沢幅が狭く露岩しているため大がかりな作業が必要。また、ダム袖部が短いため、魚道の設置が困難。
- ⑧ No2ダムは設置後45年経過し、経年による鋼材の品質低下が散見。